

公益社団法人 東京都臨床検査技師会 平成 30 年度 第 9 回 理事会議事録

日時：平成 31 年 1 月 23 日（水）19 時 00 分～21 時 40 分

場所：都臨技事務所

議長：原田

書記：相馬

出席：原田、小山、杉岡、中村、米山、山方、松村、三橋、宮崎、浄土、鈴木、星野、宮下、工藤、中尾、相馬、竹澤、三木、
安部監事、役員選出委員（真野） 計 20 名

欠席：櫻井、立花監事、遠藤監事、

1. 議事録確認

平成 30 年度第 8 回理事会議事録

平成 30 年度第 9 回執行理事会議事録

理事行動報告

| | | | | | | |
|----|---|----|---|-----|------------------|-------------------------------|
| 12 | 月 | 25 | 日 | (火) | 編集委員会 | 小山、山方、中尾、星野 |
| 12 | 月 | 27 | 日 | (木) | 学会企画委員会 | 原田、小山、松村、浄土、山方、鈴木、星野、工藤、米山、櫻井 |
| 1 | 月 | 7 | 日 | (月) | 表彰選考委員会 | 中村 |
| 1 | 月 | 9 | 日 | (水) | 執行理事会 | 原田、杉岡、小山、中村、三橋、山方、米山、浄土、宮崎 |
| 1 | 月 | 10 | 日 | (木) | 役員選出委員会 | 米山 |
| 1 | 月 | 11 | 日 | (金) | 地域保健共催部会 会計部会 | 松村、三木、鈴木 宮下、工藤、浄土、 |
| 1 | 月 | 15 | 日 | (火) | 南支部幹事会 | 工藤、宮下、三木 |
| 1 | 月 | 17 | 日 | (木) | 支部業務連絡委員会 | 三橋、山方、宮下、櫻井、杉岡、相馬 |
| 1 | 月 | 21 | 日 | (月) | STI 予防委員会 | 浄土、三木 |
| 1 | 月 | 22 | 日 | (日) | 選挙管理委員会 | 鈴木、宮下 |

2. 報告事項

1) 学術部

(1) 学術部会

- ・共催許可願い書が一般検査研究班と免疫血清研究班から提出され、承認された。
- ・免疫血清研究班から研修会講師依頼が提出された。
- ・輸血検査研究班から実技講習会の案内が届いており、第 1 報を会誌 3 月号に掲載したいとの申し出があった。決定事項であればかまわないが、第一報として掲載するのは問題がある。HP への掲載や、輸血研究班の研修会などでの周知が望ましい。

(2) 編集委員会

- ・平成 30 年 12 月 25 日に第 6 回編集委員会が開催された。
- ・来年度の見積もりを日本廣業社に依頼した。他社を含め来年度の契約を検討する。

(3) データ標準化委員会

- ・前回の理事会から委員会は開催されていない。次回は 1 月 31 日に開催する。

(4) 生涯教育制度実行委員会

生涯教育対象行事登録者数（12 月）

・公益事業・その他

| | (行事名) | | (開催日) | (点数) | | (登録者数) | |
|----|---------|-------------------------------------|-----------|------|----|--------|---|
| | | | | | | | |
| 1. | (公益事業) | いたばし健康まつり | 12月01日(土) | 基礎 | 20 | 5 | 名 |
| 2. | (チーム医療) | 検体採取ハンズオンセミナー (第14回東京都医学検査学会内企画) | 12月02日(日) | 基礎 | 20 | 44 | 名 |
| 3. | (公益事業) | 都民公開講座(参加型) | 12月16日(日) | 基礎 | 20 | 21 | 名 |

・学術研究班研修会

| | (行事名) | | (開催日) | (点数) | | (登録者数) | |
|----|-------|--|-----------|------|----|--------|---|
| | | | | | | | |
| 1. | (一般) | 第3回一般検査研究班研修会 「症例から学ぶ髄液検査」 | 12月06日(木) | 専門 | 20 | 61 | 名 |
| 2. | (生理) | 第10回生理検査研究班研修会 「症例から学ぶ腹部エコー」 | 12月10日(月) | 専門 | 20 | 69 | 名 |
| 3. | (輸血) | 第4回輸血検査研究班研修会 「安全に輸血療法を実施するために -製剤管理、検査、輸血施行時における注意点-」 | 12月12日(水) | 専門 | 20 | 93 | 名 |
| 4. | (生理) | 第11回生理検査研究班研修会 「ホルター心電図～解析・波形ラベリングを中心に～」 | 12月22日(土) | 専門 | 20 | 67 | 名 |

・自己申告 会場研修

12月分

| | (行事名) | | (開催日) | (点数) | | (登録者数) | |
|----|------------------------------|--|------------|------|----|--------|---|
| | | | | | | | |
| 1. | 第26回 関東感染症懇話会 『抗酸菌』検査技術シリーズ⑧ | | 2018/12/07 | 専門 | 10 | 4 | 名 |
| 2. | 微生物学英語勉強会 | | 2018/12/11 | 基礎 | 10 | 1 | 名 |

過去月分

| | (行事名) | | (開催日) | (点数) | | (登録者数) | |
|----|-----------------------|--|------------|------|----|--------|---|
| | | | | | | | |
| 1. | 第28回 染色体遺伝子検査基礎技術セミナー | | 2018/04/14 | 専門 | 10 | 1 | 名 |
| 2. | 第29回 染色体遺伝子検査基礎技術セミナー | | 2018/06/09 | 専門 | 10 | 1 | 名 |
| 3. | 第30回 染色体遺伝子検査基礎技術セミナー | | 2018/08/25 | 専門 | 10 | 1 | 名 |
| 4. | 第31回 染色体遺伝子検査基礎技術セミナー | | 2018/10/20 | 専門 | 10 | 1 | 名 |

・1月27日ニューリーダー育成研修会を開催する。現在の申込者は8名である。

技師会として次世代のニューリーダー育成を目標としており、自主性に任せると参加者が集まりにくいので、研修班や各支部から選出することや開催日などの検討が必要である。

2) 学会運営部

- ・第4回企画委員会が12月27日に開催された。
- ・Web抄録についてアトラス社より紹介してもらい内容を確認した上で採用を了承した。
- ・学会サービスはUDX運営のデイ・ナイト株式会社が望ましいが、再度価格交渉を行ってから決定する。
- ・学術部に企画案を提出してほしい。
- ・意見交換会の会場がUDXでは小さい。懇親会場4000円程度で可能な場所を探している。
- ・首都圏支部・関甲信支部医学検査学会(第56回)の公示を会誌3月号に掲載する予定。また、今回はアトラス社のWeb抄録を採用するが、来場者にはプログラム、演題一覧の載った小冊子を配布する。アトラス社のシステムは次回の都臨技学会でも使用可能であり、コストダウンにつながる。

3) 支部運営

(1) 支部業務連絡委員会

- ・1月17日に支部業務連絡委員会が開催された。
- ・来年度に開催する初級研修会の日程は、支部で作成したものを研究班に渡し最終調整をしている。また、会場は各支部、同じ場所で開催するのが望ましい。3支部合同に関しては日本大学病院、東京医科歯科大学、順天堂大学が候補に挙がっている。
- ・西支部で免疫と微生物を5月11日に国分寺で合同開催することが決まった。
- ・都臨技オリエンテーションは4月開催を考えている。
- ・法改正に関わる研修会について、日本大学病院の荒木技師と宮島参議院議員に講演を依頼し3月の開催を予定している。

(2) 教育施設連絡者会議

- ・会議開催なし。2月27日に会議が行われる予定。

4) 地域保健共催事業部

(1) 地域保健共催部会

- ・1月11日に部会が開催された。
- ・学生対象講演会は1月26日(土)東京山手メディカルセンター4F講堂で行う。学生約100名のエントリーがあった。
- ・来年度の事業について看護フェスタの準備を進めている。血糖測定と検査相談などを予定しており、各支部から5名ずつ実務員を出してほしい。
- ・全国検査と健康展は11月9日か16日開催予定。
- ・学生対象講習会10月26日、日臨技支部学会内で行う。テーマは臨床検査技師の業務多様性について。

(2) フォーラム委員会

- ・2019年2月16日に開催される都民公開講演に関して広報活動に入っている。委員会からバスの車内広告の企画が出された。関東観光株式会社のバス80台が対象で、1週間の広告料が57,600円である。初の試みであり効果の検証を来場者のアンケートから行いたい。開会のあいさつは原田会長がおこなう。

(3) STI 予防委員会

- ・1月21日に第5回定例会が行われた。
- ・3月2日に青戸中学の予防教室が予定されている。
- ・7月に行われた予防教室のアンケートに書かれた学生からの質問に対して回答書を委員会で作成した。
- ・12月1日渋谷で行われた世界エイズデーに3名が参加した。資料の配布は約1時間で終わったが、若い人の受取は悪い印象であった。ウェットティッシュの受取は良かった。
- ・2月23日都民公開講座の広報活動を委員会で進めている。
- ・来年度は今年度同様の事業を予定している。

5) 会計部

(1) 会費収入状況

| | 1月11日 | |
|------------|---------|--------|
| | H30年度実績 | 前年同月実績 |
| 正会員会費納入者数 | 6,141名 | 5,835名 |
| 学生会員会費納入者数 | 47名 | 148名 |
| 賛助会員会費納入社数 | 70社 | 71社 |

(2) 12月の主な事業活動収支について

<収入>

- ・正会員会費収入 ¥70,000 (10名)
- ・学生会員会費収入 ¥1,500 (3名)

| | | |
|----------|------------|---------------|
| ・賛助会員 | ¥30,000 | (1社) |
| ・研修等受講費 | ¥594,000 | (第三四半期研修会) |
| ・精度管理参加費 | ¥180,000 | (18施設) |
| ・都学会参加費 | ¥2,174,500 | |
| ・都学会展示広告 | ¥3,117,870 | |
| ・機関誌広告費 | ¥1,000 | (都学会にて1冊抄録代金) |
| ・地域保健収入 | ¥30,000 | (エイズフェス参加補助費) |
| ・日臨技生涯教育 | ¥100,000 | (生理研究班2件) |
| ・懇親会参加費 | ¥304,000 | (都学会76名) |

<支出>

・殆どの支出金が、第三四半期(10月～12月)締めでの支出である。

(3)新春のつどい(1月18日)参加者数

賛助会員131名、一般会員11名 合計142名

(4)予算について

平成31年度予算案を各支部・研究班から出た予算案をそのまま示した。正会員からの会費収入は4300万円程度、学生会員からは8万円、賛助会員からは200万円を見込んでいる。事業収入では昨年とほぼ同様であるが、都臨技学会が無いため学会参加費、展示広告費が0円となっている。

収支差額は3,407,794円の赤字になっている。平成31年度は代議員選挙や事務員の増加による人件費の増加が見込まれる。支部と研究班に対して予算の見直しを求めていく。事業ごとの第三四半期までを反映させたものを理事会メールで配信した後、見直し修正したものを2月の理事会までに提出してほしい。

6)庶務部

会員数【平成30年12月27日現在】

| | 平成30年度 |
|-----------------|-------------|
| 正会員数(都臨技会費免除会員) | 6,225名(53名) |
| 賛助会員 | 73社 |
| 学「生会員(平成30年度のみ) | 47名 |
| 名誉会員 | 13名 |

(1)庶務部報告

- ・法人登記が完了したことに伴い、東京都に理事・幹事の変更届を提出した。
- ・事務所の書類の廃棄について10年間の保管期間となっており、それ以前のは整理する予定。個人情報が含まれることを考え溶解処理をかける方向で準備している。
- ・都臨技の会員証についてプラスチックへの変更を考えており、その提案書を提出した。印刷機を購入して運用することを考えているが、予算を含めて検討を続ける。

(2)選挙管理委員会

- ・1月22日委員会が行われ、代議員選挙規程の改定案を作成した。修正が反映されていない部分あり第16条(当選の無効)第3項の第14条を第15条に修正。また、開票作業、当選の通知、補欠の繰り上げ等に関して記載をすることを委員会で決定した。

4月1日に改定をしたいと考えている。審議の結果、代議員選挙規程改定案は承認された。

(3)役員選出委員会

- ・西支部の役員の補充について、役員選出委員会としては推薦書を提出してもらえれば委員会で審議選出し、理事会に報告する。

- ・役員選出規程の見直しを行った。役選委員会委員選出に当たり、担当理事の選出方法が明記されていないとの意見が出された。組織運営規定の見直しも含めて今後の課題とする。役員就任承諾書について内諾書の方が正しいのではないかとの意見が出され、調査後に委員会に打診し検討してもらうことにした。2章、第3条第4項に「役選は当該支部と十分に意思の疎通を図らなければならない」とあるが、あいまいな表現であるため「意見を聞かなければならない」が望ましいのではないかとの意見が出された。また、代議員は役員を兼務できないという文言を入れたほうが良いとの意見が出された。

7) 事務局

(1) 事務局報告

- ・日臨技に全国「検査と健康展」等の広報物の在庫があるので希望する技師会は申請すること。
- ・新卒者における検体採取講習会の受講対象者は4年制大学を卒業した臨床検査技師になる。東京都担当での開催は平成31年に3回を予定しており、これで終了する予定。
- ・日臨技から平成31年度都道府県技師会との関連事業についてお知らせが来ている。各事業で関係する部署は内容を確認。
- ・東京都診療放射線技師会から2019年度関東甲信越診療放射線技師会学術大会において特別企画(多職種協働参画)講師推薦の依頼が来ている。ワーキングを作って話をまとめた上で適切な人材に講師をしてもらう。
- ・厚生労働省から生理学的検査において自覚的聴力検査、他覚的聴力検査、行動観察による聴力検査を臨床検査技師が実施することができる行為として取り扱ってよいとの見解が出された。
- ・おまかせサイバーみまもりサービス(サイバーセキュリティ)について、電話回線の変更と同時に本サービスの加入をNTTから勧められた。セキュリティーを考えたときに月1万円の費用であれば、加入するのが妥当であると考えているが、他社にも見積もりをとり比較したうえで決めたい。

(2) 表彰選考委員会

- ・委員会が1月7日に開催された。小島三郎記念技術賞は候補者の推薦状を送付した。福見秀雄賞は推薦状送付の準備をしている。今回、学術部会から推薦を受け取ったのが12月の委員会の後であった。今後は12月の表彰選考委員会までを締め切りとすることを周知する。複数名の候補者が上がった場合の推薦者の決定方法などについて今後の課題としたい。
- ・名誉会員表彰は新春のつどいで終了した。
- ・日臨技学術奨励賞の推薦について学術部に推薦文の作成をお願いしている。
- ・都臨技の優秀論文賞について、今後どのように進めていくか理事会での検討をお願いする。学術部会から推薦をあげてもらい表彰選考委員会でまとめ、理事会で承認する形が良いと思われる。しかし、表彰選考委員会で規程を作成し会員に周知する必要がある。

8) その他

(1) 検体採取講習会について

来年4月以降の開催日と担当支部が決定している。6月15・16日南支部、8月24・25日北支部、11月23・24日東支部担当に決定している。毎回400人程度で場所はベルサール御成門タワー。実務委員長が決定し次第、杉岡副会長に連絡すること。

(2) 初級職能開発講習会について

応募者は53名であったが、当日欠席者が6名おり、参加者47名で行われた。参加者の94%が卒業後10年未満であった。アンケート調査の結果、とても満足・満足が94%、グループワークでは91%が満足との結果が得られている。職能団体として全体的に満足度の高い良い講習会であったと思われる。

- (3) 日臨技の学会の座長(公衆衛生、病理、細胞、チーム医療、教育)が未決定。

9) 会長報告

- ・診療報酬についての調査は2施設分のデータを報告した。

3. 審議事項

(1) 12月19日から1月22日までの新入会者、一般会員19名、学生会員3名について承認された。

平成31年1月23日(水)

公益社団法人 東京都臨床検査技師会

議事録作成 相馬 史

議長

(原田)

原田典明



監事

(安部)

安部信行

